



いる。

表-3 採材の基準

6. 6m採材の有利性については、表-4のとおりである。
1. 月々 100本 目標
  2. 長さ6.0m・末口径16cm～20cm
  3. 広口より通直なもの
  4. 桎種・1桎 8本～10本

表-4 長材（6.0m）採材の有利性

長 級	径 級	品 等	本 数	材 積	予定単価	販売単価	値開率
6.0 <sup>m</sup>	16～20 <sup>cm</sup>	2～3	9	1.737 <sup>m<sup>3</sup></sup>	111,523 <sup>円</sup>	130,476 <sup>円</sup>	117 <sup>%</sup>

元 中 玉別	長 級	径 級	品 等	本 数	材 積	予定単価	値開率	販売単価
元 玉	3.0 <sup>m</sup>	18～22 <sup>cm</sup>	1～2	9	0.964 <sup>m<sup>3</sup></sup>	107,308 <sup>円</sup>	126 <sup>%</sup>	135,364 <sup>円</sup>
中 玉	3.0	16～20	2～3	9	0.776	68,072	102	69,155
					1.740			105,828

$$\text{価格比率} = \frac{130,476}{105,828} = 123\%$$

$$\text{材積比率} = \frac{1.737}{1.740} = 99.8\%$$

## II 結 果

以上でわかるように、当製品作業場の、主要樹種である、人工林ヒノキ長材の採材について、需要と供給のバランスを考え、月々100本を生産するよう努力し、6m採材により販売した結果、1円当たり、123%という有利採材有利販売となった。

お わ り に

今後も、当作業場職員一同、情性に流されることなく、考えた事業、考えた作業を行い、よりよい成果を上げ、経営の改善に努力していきたい。